

2026年4月

からし種

カトリック片瀬教会



復活祭をよろこびのうちに

ブランチフィールド神父

2026年3月27日、金曜日

窓から見て、日はきれいに輝いて、咲き始めた桜を暖めている。大自然によく説教をされた聖フランシスコが、自然界のすべてが神様をほめたたえていると言われたことを思えば、桜は今年の主の復活を祝っている。となりの楠は古い葉っぱを落として、きれいに新しい葉で着飾っています。

来週は聖週間です。今日は、婦人方は枝の用意をして、日曜日には行列をして、イエスを迎え入れましょう。その後は、主と心を合わせながら、私たちのために命を与えたイエスの愛の心を、私たちの日常の生活に忠実に生かすことができるように御助けを祈ります。

復活祭にあたって共同体のために祈ります。新しい命をもって相互に関わり合いましょう。とくにこの時、若いみなさんも考えています。互いに手を取り合って力があります。片瀬教会はもちろんながら、第五地区にも仲間がいる。教会が成長するように祈りましょう。お父さん、お母さんのみなさんにもお願いします。若いみなさんの力が共同体に感じられるよう、力を合わせましょう。

では、復活された主の御祝福が

共同体のみなさんに豊かに与えられますように。

## 2026年4月度教会委員会報告

開催日時：2026年3月8日(日) 11時30分～13時30分

出席者：ブランチ神父、委員長、教会学校、副委員長、副委員長、典礼、監査、総務  
宣教司牧、福祉、広報、一粒会、市内キリスト教連絡会、書記

※コミュニティ代表者：(A)、(B)、(C)

ブランチ神父のお話し

委員会は意見交換の場である事を再度意識して発言している人の意見に耳をかたむけ最後まで聞くという事、それと同時に発言者も時間も限られた中で行っている事を意識し、より有意義な時間となるよう個々の心がけが大切。スムーズに進められるように協力を。一つの事を発言する時は、出来るだけ端的にまとめて発言してください。

全体の報告・今後の予定及び連絡事項

### ・報告

1. 2月11日(水・祝日)第五地区典礼研修会 10時～15時30分 カトリック藤沢教会にて教皇レオ14世が目指す教会 講師：菅原 裕二師 片瀬からの出席者：9名

『教皇レオ14世の時代に教会が進む道』

内容：レオ14世の前教皇フランシスコの発想の継続、平和と安定を中心に現代社会における教会の在り方

- ・後日、横浜教区のHPに当日のYouTube動画が掲載される。各教会へ通知有。
- ・高齢化、若者離れが課題に上がるが、若者は若者で集まっている(バーチャル世界等)。私たちは待っているのではなく、その場所に私たちが入っていく事も視野に入れても良いのではないか。

2. 2月22日の信徒大会

開催日時：2026年2月22日(日)11:25～12:45 場所：聖堂

参加者数：64名(開始時点)

振り返り：コミュニティごとに着席してもらった事などに対して質疑応答の

時間が短かった。全体的な時間調整が必要。報告は資料を配布しているのでそちらを参照してもらい、発表は前年度からの継続の委員会であるので、変更や特別伝えておかなければならない事だけで良いのではないか。信徒の意見をすいあげる方に重点を置いた方が良いのではないか。コミュニティごとに着席してもらった事は後方の方に固まらなくてよかった。質疑応答でのやり取りについては今後話し合っていきたい。

### 3. 3月1日(日)2026年度第1回神奈川第5地区共同宣教司牧委員会

共同宣教司牧がうまくいっている部分っていない部分を霊による会話(グループごとに分かち合い形式をとって小教区教会委員長、修道者が共に熟考)。今回は現状把握、以後も同じ形式で検証していく。

- 他教会は「祈りの力を育てる部門」「伝える力を育てる部門」、「証しの力を育てる部門」に分かれているが、片瀬はこの部門で分かれているわけではない。それをどのようにしていくかは現状では課題。以下手始めに始める事は検討事項の項目で提案。

#### ・予定の確認及び連絡事項

1. **3月15日** 黙想会 8時ミサ後、9:10～9:40、10時ミサ後 11:20～12:30  
※ミサ後5分～10分程度の休憩を入れてから黙想会を開始する。臨機応変にその時指示。指導は、レデンプトール修道会 萩原師。  
※印刷物があつた時の準備(典礼)、昼食の準備(総務)  
当日、お茶などを入れる(総務)。  
萩原神父様到着7時30分予定：お迎え、接待(宮國)  
\*車でいらっしゃるので駐車場所確保。
2. 聖ヨセフの祭日のミサ3月19日(木)10時。
3. **3月22日** 聖体顕示→10時のミサ後、昨今の新たなる戦争勃発を鑑み平和の為に心を合わせて祈りましょう→準備：ブランチ神父様と典礼部(岩田・辻垣)
4. **3月29日** 受難の主日(枝の主日)ミサ時間 8:00、10:00  
ミサ後大掃除 10時のミサ後→聖堂のワックスがけなど  
8時のミサ後→信徒会館のワックスがけ  
※用具等の準備：総務

## 5. 四旬節及び復活祭スケジュール・パーティ関係の確認

1) 十字架の道行き：金曜ミサ、四旬節中は9時からとなり、そのミサ後に行く。

### 2) 聖週間のミサ

① 4月2日 聖木曜日(主の晩餐の夕べ、洗足式) ミサ時間 19:30

② 4月3日 聖金曜日(主の受難) 十字架の道行き 15:00

典礼時間 19:30

③ 4月4日 復活徹夜祭 ミサ時間 19:00

④ 4月5日 復活の主日 ミサ時間 8:00、10:00

聖週間の侍者の表を作成中。完成次第、神父へ渡す。

3) 赦しの秘跡：四旬節中8、10時ミサ後、個人で与る。または片瀬だけではなく他教会でも赦しの秘跡に与って下さい、とブランチ神父様から

### 4) 復活祭ミサ後のパーティ・駐車場に関して

1) 復活の主日 10時のミサ後のパーティの食事、飲み物の準備は順番でコミュニティCが担当

2) 復活の主日 8時のミサ後のお茶会は第1週目であるのでコミュニティAが担当

※コミュニティCとコミュニティAで協力してセッティングなどは行う。

### 3) 駐車場に関して

今年はミサ後に全員での写真撮影を行うので駐車場をナザレト修道院にお借りする予約は副委員長まで。お知らせに載せる必要有。現在カメラマン手配中。

4) アルコールを多少出されるので飲酒をされる方は公共交通機関を使用する事、パーティー時の飲み物食べ物の差し入れなどを受け付ける旨を3月29日のおしらせに載せる。

※復活の主日は、子どものミサバンドとハンドベルで祝う。4月の子どもミサは無しとする。

□各部からの報告(部会の有様、今考えていることについても報告してください)

### 総務部

・信徒会館を使用する際は、各団体の責任者が司祭館事務所の予定表(pc デスク横の壁に設置あり)に記入することをお願いいたします。

(教会委員会、講座、サダナ、教会学校、中高大青会、福祉、総務、まりあ食堂、

ガーデニング、ウクレレの会、編み物の会)

- ・川崎マックに教会の草刈り、枝の剪定をお願いする。福祉部が担当、時期は5月連休明けの平日を希望、先方の都合で決定する。
- ・その他全体の草刈も信徒の協力の元実施する予定(4月26日)。
- ・3月29日の大掃除の準備。

#### **典 礼 部**

- ・聖堂のワイヤレスハンドマイクを新規入れ替えた。現在2本共新品になっている。

#### **福 祉 部**

福祉団体の年会費の支払い(毎年7月ごろ支払い)15団体28万位(‘20年)、支払い団体を選定し15団体より少なくなる予定。1口1～2万位の支払いで計20万円程度を継続する。

#### **教 会 学 校**

3月1日侍者会実施。神父様からミサの意味と、子ども達に教会のお仕事としてやっていることに誇りを持ってやって欲しい、とお話があった。

中高大生から侍者服の紐の結び方や基本動作、内面的な侍者の心得などを学んだ。

#### **中 高 大 青 会**

聖週間の侍者を募集しているが、侍者の手配を実施中。

#### **一 粒 会**

- ・26年度は4月18日に一粒会委員会が開始予定。
- ・池尾委員→諸事情により毎週来れなくなるので、一粒会の会費集金作業をKさんに依頼した。
- ・集金箱を修理する。一粒会の回収の際に、教会献金(細かいお金)が入っているのに困っているので献金箱と間違えないようにして欲しい。

#### **営 繕**

- ・修繕アンケートは22枚回収済み。
- ・今後内容を確認し、財務、修繕プロジェクトと共に進めていく予定。

#### **コ ミ ュ ニ テ ィ の A B C か ら の 報 告**

- ・C→委員会への出席者は昨年通り輪番制にする予定。

その他…

- ・掃除当番について、「お知らせ」に担当地域を入れて欲しい。
- ・枝の準備は、26日剪定・27日準備、この日金曜講座の方たちが今年もお手伝い

してくれる。10 時位。

- ・子どものミサ奉仕者(朗読)に子どもがいないことについて  
→子どものミサの奉仕者の声掛けをプライオリティをつけて声掛けしていたが【子ども(小学生)→中高生→保護者(両親)→祖父母】、今後は、毎月第1日曜日のミサ後の侍者会で次の月の奉仕者を小学生・中高生の中で決めておく。(小学生の朗読は担当制にする事が望ましい)

#### □ 検討・討議事項

全体の報告3. で述べた「他教会は「祈りの力を育てる部門」「伝える力を育てる部門」、「証しする力を育てる部門」に関してどこの部門がというわけではなく信徒全体で意識を高めて育てていく事が大切。宣教という事を考えた時にまず手始めに受付係を設けてはどうか？

初めて教会にいらっしゃる方を気持ちよく招く為の少しの手助けをする受付ではなく案内係にして協力いただける方を募集する。お知らせに掲載。

- ・3部門(祈り・伝える・証しする)の内容に着目する必要がある、信徒全員が考える機会があるとよい。冊子はあるのでそのような機会を作り配布したい。
- ・神奈川第5地区共同宣教司牧委員会では、その振り返りとして共同宣教司牧がうまくいっている部分っていない部分をなど、現状把握を行っている。そこでの他教会での活動などを委員会へフィードバックしてもらい考えていく。

#### □ 信徒大会時の質疑応答時に出た意見に対して

戦争回避、平和を求める事を実行していくには何が必要か？

まずは祈る事にたちかえる、ただ一人で祈るのではなく、コミュニティごとであったり、委員会ごとであったり、皆でどのような祈りが必要か考えて、毎週の共同祈願に含めるという事をする。

その過程で、祈りを通して、私達が何をすべきか、何が出来るのかという事が見えてくるのではないかという提案をした結果

- ・共同祈願の4番目(各小教区の為の祈り)の内容の見直し。現在は先唱が考えてきて読んでいるがそれだと個人的な祈りなどが入ってくる。
- ・他教会では、典礼が考えたものを事前に渡されてそれを読む。
- ・中高生は、一か月前から準備させ考えてもらっている。良いものを考えて来るのでそれは続けたい。他教会では、色々な部から祈りを作り読んでいる教会もある。
- ・委員会での意見を持ち帰り、典礼部内で話し合う。(信徒大会に出てきた意見に

対する行動として考えてもらいたい。)

- ・平和についての祈りについて→災害や人災等起こった時にすぐに祈る機会を作る。Ex.) ミサの前後にロザリオの祈りをする。修道会ではよくシスター達が行っている、などの意見が出たので、再度関係者で検証継続しなるべく早く実行する事としたい。

次回委員会 4月12日

## 2026年信徒大会概要とまとめ

教会委員長 宮國麻美

1. 2月22日(日)信徒大会を開催、参加者は64名  
まずは、ブランチ神父様より、感謝の心を伝えたい。この共同体が成立するため、また各典礼・行事の為に、この1年にたくさんの人が携わり、協力をいただいたことに感謝している。  
個人的にも昨年の1月ごろから自身の足が不自由になったが皆さんはよく我慢してくれた。8月に手術を受け結果は良好。皆さんが喜んでくれて、その温かい心に感謝した。  
また、『地の塩、世の光』となるために今は愛の心が活きている。それぞれが役割を果たし教会に来られない人にも心を配るようにして下さい。何よりも感謝の心を今は皆様に伝えたい。というお言葉があった。
2. 2025年度の教会全体の動きの報告を信徒大会資料を基に説明
  - ・昨年に引き続き、良い伝統は残しつつ新しい視点から物事考えてという精神を継続していく。
  - ・コミュニティのより一層深いつながりを作るために昨年度教会委員会から委員会へ出席してもらっている(議決権無し)。そのことで行事の時などスムーズな運営を行えるようになった。また、教会に来られていない方にも教会とつながっているという意識を持てるような温かい教会を目指していく。それでいくと、クリスマスの時にコミュニティの代表の方が普段教会に来られていない方々に連絡を密に取ってくださった。これは信徒の多くがどこかで繋がっているという意識が持てる第一歩となったのではないかな。なので、この様な事は引き続き行っていく。
3. その後、2025年度の報告と2026年度の試み等を各部の代表の皆様から発表があった。(詳細は信徒大会議事録参照)
- 4 財務部より前年度決算報告及び今年度予算報告があった。  
収入は減少している。収支-400万円。これは2025年度の聖堂その他の修繕費用。

引き続き、有意義なお金の使い方をしてほしい旨伝えられた。その後会計監査から決算報告は適正に処理されていることの報告があった。

5. 今年のテーマ「世代を超えてつながろう」について、宮國委員長より、全世代が支えていく温かい共同体の実現の為に尽力するので、御協力をお願いしたい。
6. 今年度年間活動計画  
信徒大会資料を基に委員長より説明。それぞれの委員会、諸活動メンバーの紹介。
7. 質疑応答でのご意見
  - ・ 世界の人口が88億人、そのうちカトリック信者は14億人。世界で戦争状態にある国々が増えつつある。戦争をなくすためには武力ではなく話し合いで解決していく必要がある。片瀬教会からローマ教皇へ戦争を回避、終息させる何かが出来ないか伝える必要がある。それに対してのご意見として、信徒全員参加する形で祈りを、小グループで考え毎週ミサの時に唱えるのはどうかという意見がでた。祈りだけではなかなか解決する事ではないが、まず、どんな行動を起こせば良いかという事も祈りを考えながら皆で考える事に繋がるのではないかという流れになった。是非実行していきたい。
  - ・ 信徒大会時に配布した修繕に関するアンケートに関する質問があった。
  - ・ 神父様から、集まって人を見ると40歳以下の人はいない。若い人が来ないことに心を寄せて考えなければならない。まずは自分たちの家庭の中から心をかけましょう。
8. **ランチ神父様の終わりの祈り**

長い時間をかけて話しました。教会の今後の発展のために色々な事を考え将来のためにベストを尽くしてきました。どうか神様、皆さんを祝福し、心を強めてください。そして、私たちが人に対していつも心を開いていられますように。心に笑顔を持っていられますように。私たちが教会のために働くことができるようにお助け下さい。

その後3月8日の教会委員会で信徒大会のふり返りが行われました。

- ① 出席者は64名、但しこれは開始時。その後遅れて入っていらした方々も何名かいらしたので昨年度の70名を同じ位の出席者であった。
- ② 初めての試みでコミュニティごとに着席していただいた事は、前列の方に出席者が集まり話しやすかったのではないか。
- ③ 報告はもっと端的にして、質疑応答の時間を増やすべき。
- ④ 質疑応答で出たご意見に関してはすぐに着手したい(委員長より)等の意見が出た。

## 信徒大会を通して・・・委員長としての感想

皆様が各部署で共同体の為に尽力いただいている事をととても有難く思いました。

また、質疑応答の中で、昨今の世界の緊迫した情勢に、誰もが危機感を感じていて何が出来るかを模索している事を理解する事が出来ました。私たち一人一人は祈りながら、自分に何が出来るか問いかけ、また、一人では出来ないが、信徒が協力したら実現可能な事もあるかもしれないので、とにかく祈りながら考えたいと思いました。そして小さい一歩でも平和につながる事を見出だせたら、と思いました。

ブランチ神父様の大会の最後の祈りの中の「私たちが人に対していつも心を開いていられますように。心に笑顔を持っていられますように。私たちが教会のために働くことができるようにお助け下さい。」

この祈りに励まされながら。教会の為に働く事は主の平和の為に働く事に尽きます。その平和を積み重ねていかれたらと考えます。

最後に、信徒大会の一週間後にブランチ神父様のアイルランド管区への異動が発表されました。

ブランチ神父様の祈り、「私たちがいつも心を開いていられますように、心に笑顔を持っていられますように」という大切な祈りを再度深く心に刻みました。

そして片瀬の共同体もより平和で生き生きとしたファミリーとなれる様、今年も皆で手を携えていきたいと思いました。ヨゼフ様に助けていただきながら。皆様どうぞよろしく願いいたします。

3月19日聖ヨゼフの祝日の日に



## 黙想会

今年も2月18日の「灰の水曜日」から四旬節に入りました。イエスが公生活に入る前に40日40夜砂漠の中で断食と祈りを行ったことに倣い、私たちも自分自身の生活を振り返り、イエスキリストの受難に思いを馳せ静かに神と向き合い、心から復活祭を迎えることができるように準備したいものです。

その一環として、3月15日(日)にレデンプトール修道会の萩原義幸神父様をお招きして「黙想会」が、8時と10時のミサ後に行われました。昨年4月の中高大青会による「神父様のお話会」にもお越しくださり、その優しいお人柄と親しみやすいお話は記憶に新しいところです。今回は「黙想会」というよりは、「黙想をすとは?」「祈りとは?」というような、黙想以前の心の置き方、心の持って行き方が中心のお話でした。

冒頭まずギターで「Dear Dad Dear Beloved」という曲を弾き語りしてくださいました。「私たちは生まれる前から神様に愛されていること。そして、ずうっと見守っていてくださる神様」というような内容で、より身近に神様を感じる歌でした。

そして「どのようにして祈りに入りますか?」との問いから、祈りの前のウォーミングアップ(祈りの前の準備体操)の必要性を説かれました。静かに目を閉じて、体の各部分を意識すること。普段の生活の中であまり感じることはない各部を感じることで心を落ち着かせ、自分の思いや考えを神に向けて、「神様、私はここにいますよ」と神に伝えて祈り始めること。

また、黙想とは「感謝して、喜びの中で生きること。もっと豊かに人生を生きること。身近にある恵みを探すこと。そして、気づくこと…そのために、心の静けさが必要なのです。」と。

常日頃、何気なく祈りに入ってしまいましたが、このようなちょっとした意識により深い祈り「神様との対話」ができることでしょう。ブランチ神父様もよく講座の前に「神様に心を向けましょう」と仰って、吸う息と吐く息の温度差を感じるようになさいます。祈りに入る前に少し工夫することによって神様の存在を身近に感じ、特にこの四旬節、祈りたいと思います。

いつもの静寂の中での黙想会が多かったですが、祈り方のヒントとなる、大変親しみやすいお話の黙想会でした。



## 2026年4月

### ☆教皇の意向：危機に瀕する司祭

召命の危機にある司祭が、必要な霊的同伴を見出しますように。そして、教会共同体が理解と祈りをもって司祭を支えることができますように。

### ☆日本の教会の意向：すべての人の召命

すべての人の召命のために祈ります。私たち一人ひとりが、自分が何に召されているかを識別し、神とのかかわりの中で歩むことができますように。

(祈りのしおり「きょうをささげる」より)

### ☆典礼と行事・活動予定

	曜日	典礼	ミサ時間	行事・活動予定
4/1	水			
2	木	聖木曜日(主の晩餐、洗足式)	19:30	まりあ食堂
3	金	聖金曜日(主の受難)(大斎・小斎)*聖地の為の献金	19:30	十字架の道行き15:00
4	土	聖土曜日・復活徹夜祭	19:00	
5	日	復活祭	8:00 10:00	
6	月			
7	火			ペトロの手紙を読む会 10:00
8	水			聖書と典礼を読む会 10:00
9	木			
10	金		9:30	ミサ後、・金曜講座
11	土			
12	日	復活節第2主日(神のいつくしみの主日)	8:00 10:00	5月度教会委員会
13	月			
14	火			ペトロの手紙を読む会 10:00
15	水			聖書と典礼を読む会 10:00
16	木			
17	金		9:30	ミサ後、・金曜講座
18	土			
19	日	復活節第3主日	8:00 10:00	ミニ福祉バザー/今なら聞きたい教会史 12:00
20	月			
21	火			ペトロの手紙を読む会 10:00
22	水			聖書と典礼を読む会 10:00
23	木			
24	金		9:30	ミサ後、・金曜講座
25	土			
26	日	復活節第4主日*世界召命祈願の日	8:00 10:00	草取り 10時ミサ後
27	月			
28	火			ペトロの手紙を読む会 10:00
29	水			聖書と典礼を読む会 10:00
30	木			

## ありがとう ブランチ神父さま

横浜教区の 2026 年度司祭人事異動が発表され、ブランチ神父さまは、聖霊降臨の主日後 5月 25 日付で、アイルランド教区に異動されることが決定しました。後任には、宮内毅(みやうちたけし)神父さま(秦野教会より)が着任されます。

2021 年 4 月 5 日に鍛冶ヶ谷教会から異動されていらして丸 5 年。まだコロナの影響で地区別のミサが行われていた頃から今日まで、コミュニティ単位の活動に力を注がれ、一人でも多くの方が教会に足を運ぶよう近所での声かけや、高齢で教会に来られない方への心配りなど、きめ細かな司牧活動をしてくださいました。

このブランチ神父さまの志をこれからも引継いで行くと共に、アイルランドでのご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

広報部一同

2026 年 4 月号

発行 カトリック片瀬教会  
〒251-0035 藤沢市片瀬海岸2-2-35  
TEL/FAX 0466-22-4646

<https://www.catholickatasechurch.com>